



年頭のごあいさつ



新春を迎え、東陽地区の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年中は、まちづくり協議会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

地域の皆さまと共に取り組んできた環境美化活動や地域イベントなどを通じて、地域の絆がより深まり、笑顔あふれる町づくりに向けて大きな一歩を踏み出すことができました。この笑顔の広がる町が、私たちの誇りであり、これからも大切にしていきたいと感じています。

本年も「支え合い、助け合い、共に歩む」精神で、地域活動をより一層充実させ、住みよい町づくりを進めてまいります。子どもたちの元気な笑顔、高齢者が安心して暮らせる環境、そして全ての町民が誇りを持てる東陽を目指して活動してまいります。

東陽が笑顔あふれる一年となりますように、変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

令和八年 元旦

東陽まちづくり協議会

会長 橋永 高德



令和7年度 東陽町文化の祭典 ～笑顔いっぱいの敬老会とのコラボ～

令和7年11月22日（土）、東陽スポーツセンターにおいて東陽町文化の祭典が盛大に行われました。今回は、敬老会と文化の祭典の共同事業としての開催でした。

敬老者や町民の皆様がたくさん観覧される中、オープニングを飾ってくれたのは、河俣保育園、東陽校区婦人会の皆さん。敬老会にぴったりの「長生き音頭」を披露してくださいました。

開会式では、橋永会長から東陽町の文化祭の歴史、敬老会とのコラボについて話され、最後に「本日は笑顔で楽しんでください。」と、挨拶がありました。

ステージでは、地元の方々による歌や和太鼓の他、敬老会事業として、ゲストの大ちゃん一座が会場を盛り上げてくださいました。ご来賓の皆様や役員、敬老者が、一緒に「マツケンサンバ」を踊り、大変楽しまれている様子を見ることができました。また、司会者でもあるなぎさママが、「貯筋運動」として、敬老会参加記念品の「クノンボール」を使用しての体験実技も行われ、観客の皆様も体験されており、肩こり解消、筋力アップ、下肢の強化に役立ちそうでした。

そして、今年の展示部門も見ごたえのある作品がたくさん出展されており、素晴らしかったです。

今年度の文化の祭典、敬老会共同事業にご協力いただいた関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



敬老会事業のゲスト大ちゃん一座、「貯筋運動」は、大盛り上がりでした！また、食改さん手作りのおにぎりや煮しめなども大好評でした。

～お詫び～

敬老会当日に配布しました、東陽町敬老者数の人数が間違っておりまして。申し訳ありませんでした。下記に修正後を載せております。

R7年度 東陽町敬老者数 R7.10.31 時点
75歳以上（昭和26年4月1日以前誕生）

行政区	男	女	計
西原	12	13	25
五反田	13	16	29
新里	9	13	22
差野	19	26	45
畑中	9	13	22
赤山	3	4	7
栗林	9	13	22
平野団地	8	11	19
平野	4	3	7
種山	16	31	47
杉の本	14	19	33
早瀬	9	7	16
黒淵	3	12	15
陣内	5	8	13
新開	5	9	14
重見	2	4	6
館原	9	12	21
内の原	3	5	8
箱石	10	10	20
美生	7	8	15
鶴	16	29	45
久木野	17	18	35
鹿路	4	9	13
坂より上	7	7	14
ひかわの里	2	10	12
合 計	215	310	525

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、東陽町発展の為に多大なるご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

来る午年は、「挑戦と飛躍」の象徴と言われています。地域の力を結集し、暮らしの安心と活力ある東陽町づくりに皆さんと共に頑張っ

て参りましょう。本年も変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げ、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたします。

令和八年 元旦

八代市議会議員 橋本 幸一



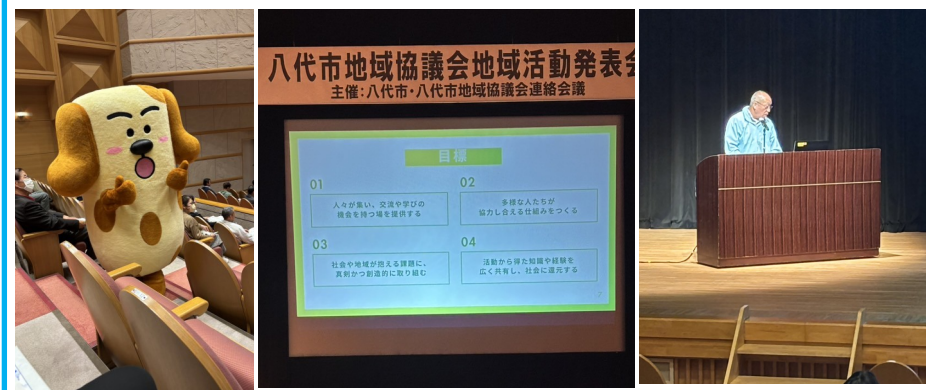
八代地域協議会地域活動発表会の開催

令和7年11月1日（土）、八代地域協議会活動発表会が開催され、橋永会長が発表をされました。発表内容としては、河俣保育園の民営化、中学生ボランティアガイド、文化の祭典と敬老会のコラボについてでした。

最後まで、ご覧になられていた小野市長さんからは、河俣保育園の民営化について興味を持たれ、質問や「感銘を受けました。」とのお言葉もいただきました。

日奈久自治会の発表では、ちくワンがサプライズで登場！！とてもかわいかったです。その他に泉や麦島の発表もあり、どの協議会も素晴らしい取り組みをされているな～と感じました。

橋永会長、発表お疲れ様でした。



敬老会にて「クノンボール」を記念品として配布しましたが、その使い方の一部をなぎさママが描いてくださいました。ぜひ参考にされ、体操をしてみてください☆



～香典返し寄付のお礼～

東陽まちづくり協議会に、香典返しとして寄付がありました。

◆喪主 前田 一枝 様 ・ 故人 前田 キ卫 様（黒 淵）
◆喪主 富岡 昌子 様 ・ 故人 富岡 利秋 様（鶴）

故人のご冥福をお祈りいたしますと共に、ここに厚く御礼申し上げます。
東陽校区発展のため、有効に活用させていただきます。
東陽まちづくり協議会 会長 橋永 高德

Qクイズ 私は誰でしょう？

Aさん（ヒント：栗林地区 78歳）



- ①継続は力なり
- ②旅行
- ③朝顔
- ④90%



ゲストさんに次の4つの質問をしました。
Aさんは誰でしょう？

- ①座右の銘は？
- ②今、熱中してることは？
または楽しみなことは？
- ③自分を動物や花に例えると
なんでしょう？
- ④今、幸せ度は何%ですか？

★第48号の答え Aさん⇒坂崎 伸治さん（コミセン職員）でした！

今月号の答えは、この紙面の下に書いてあります。

町の元気モン ～戦後80年 戦争の記憶を語る～

坂崎 孝弼さん（91歳） サナエさん（88歳）

令和7年は、戦後80年、昭和100年の節目の年ということで、南地区にお住いの、坂崎さんご夫妻に戦争の記憶をお聞きました。

一孝弼さんの記憶一

太平洋戦争が始まった当時は、7歳（小2）、終戦の昭和20年は、11歳（小5）でした。当時、沖縄から20名ほど学童疎開で内の木場分校に来ていました。先生は、新垣先生。運動場で遊んでいるときに敵の飛行機を見つけたら急いで机の下に隠れました。父や叔父たちは、戦争に行き、食べ物や着るもの、履物などなくて、大変不自由しました。特に履物がなくて、作ってもらった草履を履いて学校に行っていました。

この太平洋戦争で軍艦大和に乗員していた、叔父で海軍の安太郎が戦死しました。遺骨は戻らず、白紙1枚でのお知らせでした。

一サナエさんの記憶一

戦争の記憶と言えば、空襲警報が鳴ると大事なものを風呂敷に包んで、裏山の炭焼き小屋に走りこんでいました。そこにはお年寄りが4、5人おられ、警報が解除になると、お茶を沸かし、サツマイモを焼いてもらい、子どもたちはそのサツマイモを食べて、走り回っていたのを思い出しました。

お二人からお話をお聞きし、二度と戦争を起こさないために、戦争を知らない世代のためにも戦争体験を語り続ける大切さを感じました。

現在の孝弼さんは、サナエさんと、「毎日楽しく気力で頑張っています。」と、笑顔で話され、サナエさんは、「畑に出て、野菜作りや草取りに精を出し、菜摘館に出荷したり、体の続く限り頑張りたいです。」と、話されました。

お二人には、人生の大先輩としてたくさん学ばせていただきました。

ますますのご健勝とご長寿をお祈り申し上げます。



現在のサナエさんと孝弼さん



村議会議員時の孝弼さん

☆こうほう『東陽幸せまちづくり』は広報人権委員による手作りの広報誌です。まちの「ホット!」な情報を発信していきます！お楽しみに☆

☆私は誰でしょう?の答え・・・宮崎 千鶴子さん（ヘルスメイトさん代表）です。